

質問書に対する回答

(件名) 首都圏中央連絡自動車道 境高架橋（下部工）工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	客土掘削 土砂Aについて	特記仕様書23-2-1(1)で土砂A1は仮置場の土砂をSTA70+60～STS77+20(附帯工図面7/127)に高速道路を使用して再利用する計画となっています。一方、土砂A2は仮置場の土砂をSTA70+5.7～STA70+60に高速道路を使用せずに再利用する計画となっています。土砂A1は高速道路を使用しますか。使用する場合の区間をご教示願います。	特記仕様書23-2-1(1)及び割掛対象表参考内訳書(2/4)に示すとおりです。
2	構造物掘削の内、特殊部PA39について	設計図(353/362)ではN値50を上回っているのに対して、【境地区橋梁設計検討業務数量計算書】では最大N値が31となっています。採用すべき値をご教示願います。	数量計算書に示すN値は平均値です。採用すべき値については、特記仕様書23-2-3に基づきお考えください。
3	柱状図について	下記の橋脚については土質柱状図の記載がありません。 (PA5、PA6、PA9、PA10、PA14、PA15、PA33、PA37、PA38、PA41、PA42、PA43) 使用すべき柱状図をご提示願います。	PA5、PA6、PA9、PA10、PA14、PA15、PA33、PA37、PA38、PA41、PA42、PA43の土質柱状図については、不要と考えているため、記載しておりません。